

## 6. 欧州の主要河川船造船所

### 6.1 Neptun Werft (ドイツ)

NEPTUN WERFT GmbH & Co. KG

Werftallee 13

18119 Rostock, Germany

Tel: +49 381/384 10 10

info@neptunwerft.de

www.neptunwerft.de

これまでに 1,500 隻以上の新造船を建造してきた Neptun Werft の歴史は、1850 年にドイツ北部ロストックに創立された造船所 **Maschinenbauanstalt und Schiffswerft** にさかのぼる。Neptun の社名は 1890 年から使用している。第二次世界大戦後の東ドイツ時代には、社会主義圏向けの造船で成功を収めたが、1990 年のドイツ再統一後は経営難に陥り、1991 年には新造船建造を停止した。

1997 年、Neptun はドイツの大手造船所 **Meyer Werft** の傘下に入り（現 **Meyer Neptun Group**）、経営再建に着手した。

**Meyer Werft** の客船建造のノウハウを利用し、Neptun は 2000 年に河川クルーズ船の建造を開始した。河川クルーズ船建造事業の成功により、2003 年には造船設備を拡張し、新造船の屋内建造が可能になった。現在、Neptun Werft は、約 500 人を雇用し、河川クルーズ船建造の最大手である。

河川クルーズ船の他、Neptun は、フェリー、ガスタンカー、調査船の建造も行っている。2013 年には、初めて LNG 焚き LNG タンカーを竣工した。

河川クルーズ船に関しては、前述の河川クルーズ最大手 **Viking River Cruises** や **A-ROSA Flussschiff GmbH** が欧州河川向けのシリーズ船を次々に発注している（各クルーズ船社の概要を参照）。現時点における河川クルーズ船の建造実績（2002～2015 年）は、**Viking** 向け 35 隻、**A-ROSA** 向け 11 隻、**Premicon** 向け 6 隻の計 52 隻である。

### Viking River Cruises 「Longship」 船型



出所：Neptun Werft

### Neptun Werft 造船所



出所：Neptun Werft

## 6.2 オランダの造船所

### 2015 年の建造実績

歴史的に河川舟運の盛んなオランダでは、大小様々な造船所が、小型海洋船に加え、河川向けの貨物船、タンカー、旅客船、クルーズ船、タグ、作業船などを建造している。

2015 年にオランダの造船所が竣工した新造船 111 隻のうち、95%が河川向けの船舶であった。河川タンカーと河川貨物船の竣工量は 30 隻と安定していたが、同時期の新造船受注量は前年の 28 隻から 46 隻へと大きく増加した。これは、石油メジャーにチャーターされる LNG 駆動河川タンカー15 隻の大量受注があったからである。しかしながら、全体的には河川貨物船の受注状況は低迷が続いている。

2015 年の河川クルーズ船の竣工量は前年の 14 隻から 15 隻に微増し、これに加えて遊覧船 3 隻が竣工した。一方、河川クルーズ船の 2015 年末時点の受注残は 22 隻から 14 隻へと減少した。これは、近年のクルーズ船社の大量発注が一段落したことによる。

カッター付きポンプ浚渫船市場は好調で、引き渡し数は 2014 年の 22 隻から 28 隻に増加した。この船種は、竣工済みのストックから短期間で引き渡されることが多い。<sup>43</sup>

---

<sup>43</sup> <http://maritimetechnology.nl/en/sectorinformatie/>

## 6.2.1 Damen Shipyards Group

Damen Shipyards Group  
Avelingen West 20  
Gorinchem  
The Netherlands  
Tel: +31 183 63 99 11  
info@damen.com  
www.damen.com

オランダのホルクム（Gorinchem）に本社を置く Damen 造船所は、1927 年に 2 人の兄弟により Damen Brothers として設立された。今日では 9,000 人を雇用するグローバルな造船所であるが、依然として家族経営を貫いている。

1969 年、Damen は、モジュラー工法を取り入れ、部品、船型、工程をスタンダード化することにより建造期間の短縮とコスト削減を実現し、標準船型の実績を高めた。モジュラー工法の採用以後に建造された船舶は 6,000 隻以上に上る。現在、年間 180 隻（2015 年実績）の建造、引き渡しが可能である。Damen は、常時 200 隻程度の標準船型（船体）のストックを持ち、発注から引き渡しまでを短期間で行っていることが特徴である。また、年間 1,500 件の修繕、改造、レトロフィットを行っている。

Damen の 2015 年の売上は 21 億ユーロである。全世界に造船所 32 か所を所有し、うち 14 か所はオランダ国内である。

2015 年に引き渡しを行った 180 隻の内訳は、タグ及び作業船 82 隻、オフショア船 8 隻、高速船及びフェリー 62 隻、ポンツーン及びバージ 10 隻、浚渫船及び特殊船 15 隻、艦艇及びヨット 3 隻である。<sup>44</sup>

船舶例：河川タンカー「Damen Ecoliner」

Damen はタンカー、曳船、押船などの河川船の建造でも長年の実績がある。2015 年には、初の LNG 焚き河川タンカー「EcoLiner」（全長 110m）を竣工した。同船は、Damen のルーマニア造船所において船体を建造し、オランダで艀装を行った。

---

<sup>44</sup> <http://www.damen.com/en/about/key-figures>

## 河川タンカー「Damen Ecoliner」船型



出所：Damen

同船型は、燃料消費量とガス排出量の削減を目的に、空気潤滑船体（ACES Air-Lubricated Hull）、ガス・電気軸推進システム、Van der Velden® FLEX Tunnel など数々の革新的技術を採用している。これにより、燃料コストの最大 25%削減が可能である。

同船は、河川船への LNG 燃料利用促進に関する EU の共同研究開発プロジェクト「LNG Masterplan for Rhine-Main-Danube」の一環として開発された。

同船は河川タンカーとして開発されたが、モジュラー設計の「Damen Ecoliner」船型は、コンテナや乾貨物など他の貨物船にも適用可能である。<sup>45</sup>

---

<sup>45</sup><http://maritimetechnology.nl/en/lng-powered-ecoliner-delivers-dramatic-fuel-savings-2/>, Damen

## 6.2.2 VEKA

### VEKA Group

Biesboschhaven Zuid 10-11

4251 NM, Werkendam

The Netherlands

Tel: +31183 505230

info@vekagroup.com

www.vekagroup.com

オランダ Werkendam を本拠とする VEKA Group は、1988年にオランダ河川事業者 Piet Versluis 氏と Jan Kapel 氏が設立した造船所で、創業者の頭文字を組み合わせて **VeKa** と名付けられた。

同社の造船コンセプトは、グローバルなタンキー建造、シリーズ船建造、国外の合弁会社による標準化された船型の建造である。

1995年、新造船建造を開始し、建造実績は2009年までに50隻、現在200隻以上である。

現在、本社近くの造船所（河川船艀装ヤード）と現地サプライヤーに加え、2004年に買収したオランダ Lemmer の Bijlsma 造船所（海洋船及び全長135mまでの河川船建造）、オランダ Heusden の TeamCo 艀装ヤードなどのグループ企業を持っている。

船体は主に東欧（ルーマニア、ポーランド、ウクライナ、セルビア、チェコ、ブルガリア）や中国の造船所から調達し、河川船、海洋船の両方を建造している。

VEKA が提供する河川タンカー及び貨物船の標準船型は、以下の通りである。この他、クルーズ船、押船、曳船、浚渫船、ポンツーンなどの各種河川向け船舶の建造も行っている。

タンカー	86m×9.16m
タンカー	110m×11.45m（タンク数8、10）
タンカー	135m×11.45m
タンカー	135m×15.00m
貨物船	110m×11.45m
貨物船	135m×11.45m
貨物船	135m×14.42m
押船・バージ	172～185m×11.45m
エンジン付きバージ	110m×11.45m

## 船舶例：河川 LNG タンカー

2013 年、VEKA は、オランダ船主 Deen Shipping と新型 LNG タンカーの共同開発プロジェクト「VEKA DEEN LNG」を開始した。開発される小型 LNG タンカーは、全長 86～120m で、2,250～3,000m<sup>3</sup>の LNG 輸送能力を持つ。今後 LNG 供給インフラの整備が予想されるライン川を対象としている。

### 河川 LNG タンカー「VEKA DEEN LNG」船型



出所：VEKA

### 6.2.3 Den Breejen Shipyard

Den Breejen Shipyard  
Havenstraat 7  
3372 BD Hardinxveld-Giessendam  
The Netherlands  
Tel: +31 (0)184 - 676 140  
info@breejen-shipyard.nl  
www.breejen-shipyard.nl

1947年創立の Den Breejen は、オランダの全長 135m までの河川船専門の造船所で、特に近年は豪華河川クルーズ船を数多く建造している。その他の建造船種としては、河川フェリー、貨物船、タンカー、コンテナ、作業船などがある。

河川クルーズ船の建造は 2007 年に開始し、これまでの受注総数は 32 隻に上る。最大顧客は 17 隻を発注した米国の河川クルーズ会社 Avalon Waterways である。Avalon 社に加え、オーストラリア Scenic 社向け 9 隻、Scenic の子会社 Emerald Waterways 社向け 5 隻でほぼ全数を占める。

河川クルーズ船は、完全に顧客の要望と仕様に応じて設計、建造され、船内にはデラックスキャビン、スタンダードキャビン、レストランとサロン、プロ仕様のギャラリー、ランドリーを完備する。要望があれば、サウナ、ジャクジ、フィットネスエリア、ショップ、美容室などの設備も追加する。

クルーズ船の推進と発電システムは、ツイン・ラダープロペラ 2 基、バウスラスター1基又は 2 基、自動切替え機能付きの発電機である。

船舶例

河川クルーズ船「Avalon Passion」



出所：Den Breejen



河川クルーズ船「Avalon Passion」の主な仕様

建造年： 2016 年  
全長： 135.00m  
幅： 11.45m  
喫水： 3.15m  
高さ： 6.00m  
トン数： 2,565 トン  
客室： 86  
乗員室： 26  
主機： CATERPILLAR C32 SCAC ACERT 746 kW (1000 BHP) @ 1800 rpm × 2  
推進・発電： Veth Propulsion B.V. 2 contraroterende Veth Z-drives, type VZ-900-CR  
(746 kW / 1800 rpm) 1 Veth Jet, type 4-K-1200 (350 kW / 1800 rpm)  
4 Veth generatorsets  
レーダー： Alpatron Marine B.V. JMA-610 レーダー2 基、MFM-line,  
RT6248 VHF 、Alphachart<sup>46</sup>

---

<sup>46</sup> <http://vlootschouw.nl/schepen/schip/avalon-passion/>

## 7. 今後の動向と課題

EU 欧州委員会が 2011 年に発表した運輸白書は、欧州全体のモビリティを高め、経済成長と雇用を促進する競争力のある輸送システム実現のための今後 10 年間の方策を提唱している。同時に、原油輸入への依存を軽減し、2050 年までに CO<sub>2</sub> 排出量を 60% 削減することを目標としている。

今後の課題は、以下の目標に向けた全輸送手段の効率向上、持続性のある燃料と推進システムの開発、マルチモーダル・ロジスティック・チェーンの開発と最適化、輸送インフラの効率化などである。

- 効率的で環境性の高い輸送ネットワーク（回廊）を利用し、2030 年までに 300km 超の道路輸送の 30% を鉄道輸送、水上輸送にシフトする。2050 年には 50% 以上を目指す。輸送ネットワーク実現のためのインフラを整備する。
- 汎欧州マルチモーダル交通網 TEN-T のコア・ネットワークを 2030 年までに完全に機能させ、2050 年までには欧州全体をカバーする質の高い輸送ネットワークと必要な情報サービス網を構築する。
- 欧州単一市場の運輸網に不可欠な主要港湾、鉄道、内陸水路を利用した戦略的インフラのコア・ネットワークを構築する。
- 輸送の安全性を高める河川情報サービス（RIS）などの IT 情報サービスの利用を促進する。

EU の欧州内陸水運に関する究極的な目標は、河川舟運を含めた競争力と持続性のあるマルチモーダルな汎欧州交通・輸送機関の実現である。内陸水運を振興する理由としては以下の利点が挙げられ、今後の課題と関連している。<sup>47</sup>

### 1. 高い安全性

内陸水運における事故の発生率は低い。また、事故が発生した場合でも、人と経済への影響は比較的少ない。貨物のバージ輸送は、非常に厳格な検査、訓練、ライセンスが必要であり、特に危険物の輸送においては安全性の高い輸送手段である。

今後も規制の厳格化が予想され、それに対応する新技術や輸送方法、また、ヒューマンエラーを低減する手法の開発が必要である。

### 2. 環境負荷の低さ

輸送機関の環境負荷に関する数々の研究では、内陸水運は最も環境にやさしい交通・輸

---

<sup>47</sup> <http://www.naiades.info/what-we-do/why-inland-waterways/>

送手段であるという点で一致している。貨物の水上輸送の増加させることは、温室効果ガスの削減と道路渋滞の軽減に役立つ。

今後の課題は、さらに環境にやさしい技術、船舶、インフラの導入である。例としては、LNG や燃料電池などの新燃料の導入や、河川環境を損なうことのない新船型や推進システムの開発がある。

また、多くの欧州国では船隊の近代化が課題となっている。規制環境の更なる厳格化も予想され、安全で効率的な船舶の導入は不可欠である。

### 3. 輸送時間の信頼性

欧州の道路事情は年々悪化している。渋滞により輸送コストと輸送時間は増加し、結果として欧州経済の競争力を低下させている。内陸水運の利用により、渋滞の激しい道路を迂回し、目的地に貨物を定刻通りに輸送することが可能となる。

内陸水運の競争力を向上させるために、より迅速かつ安全に荷役作業を行うことができる港湾設備の整備が必要となっている。

### 4. インフラ整備コストの削減

貨物輸送を内陸水路に移動させることは、インフラ整備のコストの削減につながる。内陸水運は、比較的低コストで輸送量を大幅に増加させることが可能な輸送モードである。また、メンテナンスコストも比較的低い。

一方、環境にやさしい燃料としての LNG の利用を普及させるため、港湾の LNG 供給インフラの構築と整備へのコストは必要となる。

### 5. 高い輸送能力

内陸水路船は、ユニット当たりの輸送能力が非常に高い。積載量 2,000 トンの貨物船は、輸送量 40 トンの貨物列車 50 両分、又は輸送量 25 トンのトラック 80 台分の輸送能力に相当する。加えて輸送コストも低い内陸水路船は、コスト・パフォーマンスの高い輸送モードである。

さらに輸送能力を高めるためには、船舶の大型化、効率化と近代化、それに伴う河川の整備と港湾設備の大型化が必要となる。

## 6. インターモーダル・ネットワーク

欧州の内陸水路網は、主要港湾、商業都市、工業都市を結んでおり、コスト・パフォーマンスの高いサプライチェーンを形成している。内陸水路網は、真のインターモーダル・ネットワークに不可欠な要素である。

より効率的でシームレスなインターモーダル、マルチモーダル輸送を実現するための港湾インフラと荷役技術、ロジスティックスの整備が課題となっている。

## 7. 河川輸送能力の増大

内陸水運は、輸送能力増大の余地が最も大きい。例えば、ドナウ川の輸送能力は現在わずか 15% しか利用されていない。一方、他の輸送モードは飽和状態や道路渋滞の問題を持っており、欧州経済の機動力と競争力を損ねている。内陸水運は将来的にさらに活用されるべき輸送手段である。

課題としては、輸送効率の高い大型船の航行を可能にするための河川の整備と港湾インフラの整備と船隊の近代化が必要である。

## 8. 輸送貨物の柔軟性

輸送能力の高い内陸水運は、非常に大きい貨物、又は形状の複雑な貨物の輸送に適している。変圧器、タービン、サイロ、ボイラー、航空機、列車、ヘリコプターなど、低い橋梁や狭い道路、ラウンドアバウト（ロータリー）などにより、道路輸送や鉄道輸送が不可能な貨物の場合、船舶の利用が目的地に到達できる唯一の手段であることが多い。

様々な貨物にさらに柔軟に対応するためには、新たな多目的船型の開発も視野に入れる必要がある。

## 9. テーラーメイドの輸送

内陸水運で輸送不可能な貨物はほぼ皆無である。船社は、乾貨物船、液体貨物船、コンテナ船、RORO 船などあらゆる貨物に適した船舶を提供している。輸送方法をテーラーメイドすることにより、貨物を目的地に定時に輸送することが可能である。

さらに競争力を高めるためには、船舶の効率化と近代化が課題となっている。

## 10. 効率的な IT 技術

高精度の情報技術と通信技術は、高効率なロジスティック・チェーンの管理に不可欠である。欧州の内陸水運では、確立された河川情報サービス（**River Information Services : RIS**）が貨物データと交通データをリンクしており、船社がリアルタイムで貨物を追跡することが可能である。

今後、新技術の開発と普及に伴い、規制の改正や国際的な協調、新たなトレーニング体制なども必要となる。

## 参考：米国河川舟運の概要

### 1. 米国内航水運の概要

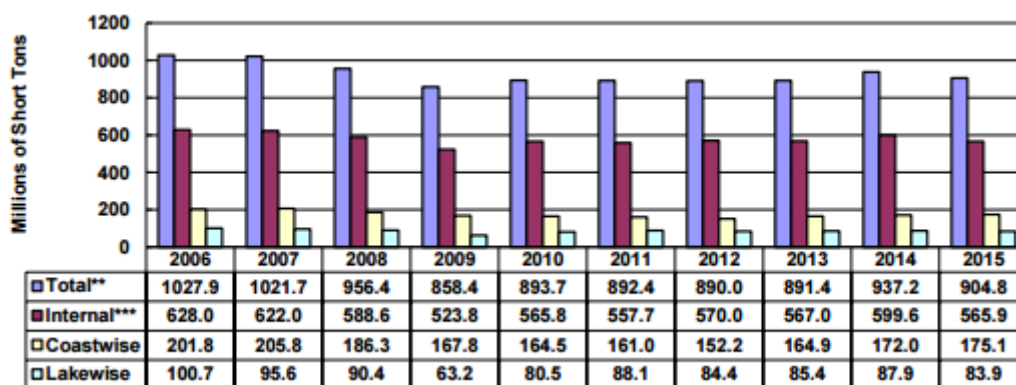
米国には、河川、湾、運河、海洋沿岸等の 25,320 マイル（40,512km）に及ぶ航行可能な水路があり、国内貨物輸送及び国際貿易に利用されている。特に広大な米国本土の河川網は、建国当初から物資と人の重要な輸送経路であり、多くの都市圏は河川及び港湾に沿って形成された。

しかしながら、米国内航水運（内航海運及び河川舟運）は次第に道路、鉄道、航空による貨物輸送に取って代われ、主要輸送機関としての重要性を失っていった。現在、内航水運、即ち米国河川、五大湖、沿岸の貨物総輸送量は、輸送トン・マイル（輸送量×輸送距離）ベースでは国内貨物総輸送量の 13%（2007 年、1965 年は 26%）に過ぎない。<sup>48</sup>

米国では、陸路の混雑緩和と地域経済の活性化を目指し、安全性が高く環境にやさしい内陸水路及び沿岸水路網を再び活用する計画「America's Marine Highway」が提唱されている。主要河川と主要道路及び鉄道は並行していることが多く、河川を利用することによりインフラ整備コストを低く抑えることが可能であることも、内陸水運を推進する理由のひとつである。<sup>49</sup>

図表：米国内航水運輸送量（総輸送量、河川、沿岸、五大湖）の推移

（2006～2017 年、単位：百万ショートトン）



出所：http://www.navigationdatacenter.us/wcsc/pdf/Final-wcsc.pdf

注：棒線は左から総輸送量、うち河川、沿岸、五大湖の輸送量

<sup>48</sup>https://www.marad.dot.gov/wp-content/uploads/pdf/MARAD\_AMH\_Report\_to\_Congress.pdf

<sup>49</sup>https://www.marad.dot.gov/wp-content/uploads/pdf/MARAD\_AMH\_Report\_to\_Congress.pdf

## 2. ミシシッピ川の概要

米国には約 12,000 マイル（約 20,000km）の航行可能な内陸水路がある<sup>50</sup>。商業的に最も多く利用されている水路は、ミシシッピ川とその支流を含むミシシッピ水系（Mississippi River System）である。

ミネソタ州イタスカ湖を源流とし、メキシコ湾に注ぐ全長 2,350 マイル（3,782km）のミシシッピ川は、北米大陸の代表的な河川で、支流のミズーリ川を含めた場合は全長 5,970km となり、ナイル川、アマゾン川、長江に次ぐ世界の大河のひとつである。<sup>51</sup>

ミシシッピ川は、米国内のみを流れる国内河川で、流域州はミネソタ、ウィスコンシン、アイオワ、イリノイ、ミズーリ、ケンタッキー、テネシー、アーカンソー、ミシシッピ、ルイジアナの 10 州である。支流を含めると、ミシシッピ川の流域面積は米国本土の約 40% をカバーする。

ミズーリ川、イリノイ川、オハイオ川などの支流を含めたミシシッピ水系全体の航行可能な水路は、約 9,000 マイル（14,500km）に及び、うちミシシッピ川本流の可航距離は約 1,800 マイル（2,900km）である。<sup>52</sup>

図：ミシシッピ川水系：ミシシッピ川と主な支流



出所：<https://www.nps.gov/miss/riverfacts.htm>

<sup>50</sup> <http://www.corpsnets.us/docs/other/05-nets-r-12.pdf>

<sup>51</sup> <https://www.nps.gov/miss/riverfacts.htm>

ミシシッピ川の全長は、調査機関、調査年により 2,300～2,552 マイルと異なる。

<sup>52</sup> <http://www.corpsnets.us/docs/other/05-nets-r-12.pdf>

ミシシッピ川は、源流からミズーリ川合流地点までの上流域（約 1,860km、うち航行可能 1,069km）、オハイオ川合流地点までの中流域（約 310km）、メキシコ湾の河口までの下流域（約 1,600km）の 3 セクションに大きく分けられる。

沿岸の大都市は、上流域のミネアポリス／セントポール、中流域のセントルイス、下流域のメンフィス、バトンルージュ、ニューオーリンズなどである。

図：ミシシッピ川水系の主な都市



出所：<http://bkushistory.pbworks.com/w/page/109210132/Mississippi%20River>

ミシシッピ川本流はミネアポリスまで遡行できる。支流であるミズーリ川、オハイオ川、テネシー川、アーカンザス川、カンバーランド川なども航行が可能で、河川舟運に利用されている。

ミシシッピ川は、植民初期から輸送路として活用されてきたが、現在でも大穀倉地帯である米国中央部における輸送の幹線となっている。<sup>53</sup>

<sup>53</sup> Wikipedia



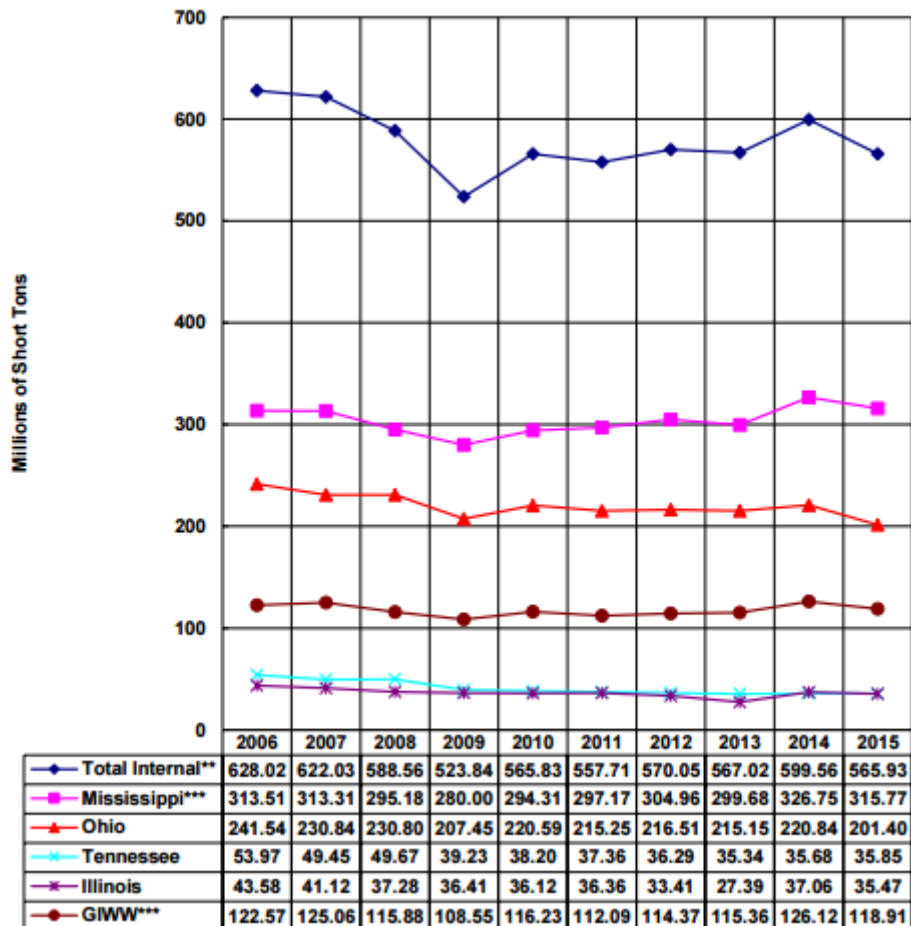
ミシシッピ川の水路の保守は、米国国内の他の河川と同じく米国陸軍工兵隊が担当している。

### 主要内陸水路とミシシッピ川の貨物輸送量

2015年の米国国内の河川舟運と沿岸海運を含む内航水運の総貨物輸送量は、9億480万ショートトン<sup>54</sup>である。うちミシシッピ川本流の輸送量は、約3億1,580万ショートトンで、全内航輸送量の約35%を占めている。

その他輸送量の多い内陸水路は、オハイオ川2億140万ショートトン、メキシコ湾内の港湾を結ぶメキシコ湾沿岸内水路（Gulf Intracoastal Waterway、GIWW）1億1,890万ショートトン、テネシー川3,580万ショートトン、イリノイ川3,580万ショートトンで、ミシシッピ水系の輸送量が大部分を占めている。<sup>55</sup>

図表：米国主要内陸水路輸送量の推移（2006～2015年、単位：百万ショートトン）



出所：<http://www.navigationdatacenter.us/wcsc/pdf/Final-wcsc.pdf>

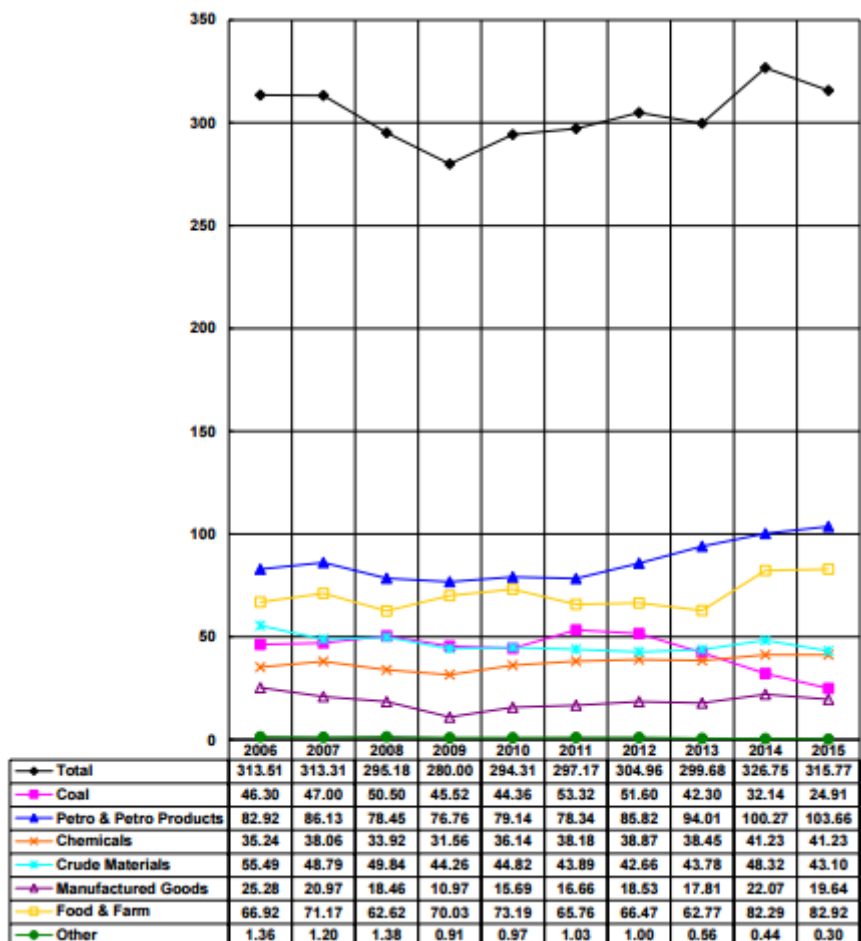
注：上から総輸送量、ミシシッピ川、オハイオ川、GIWW、テネシー川、イリノイ川

<sup>54</sup> 米国慣用単位の質量単位。1ショートトン=2000ポンド=907.18474kg

<sup>55</sup> Waterborne Commerce Statistics Center, U.S. Army Corps of Engineers

下図はミシシッピ川のための貨物輸送量の推移である。2015年の輸送品目は、多い順に石油・石油製品、食品・農業製品、原材料<sup>56</sup>、化学薬品（肥料を含む）、石炭、工業製品となっている。石油・石油製品と食品・農業製品が増加傾向にあり、石炭が減少傾向にある。

図表：ミシシッピ川の品目別貨物輸送量の推移（2006～2015年、単位：100万ショートトン）



出所：http://www.navigationdatacenter.us/wsc/pdf/Final-wsc.pdf

<sup>56</sup> 木材、パルプ、土砂、石材、鉄鉱石、非鉄金属素材、硫黄を含む。

### 3. 米国内航船社・事業者

米国内航水運の最も大きなシェアを占めるセグメントは、年間約 9 億ショートトンの国内貨物を輸送している河川及び沿岸バージ貨物輸送である。同セグメントは、乗組員として 33,000 人を雇用している国内産業である。<sup>57</sup>

以下は、米国内でバージ輸送及び関連する曳船・押船サービスを行っている主な内航船社及び河川クルーズ船社の一覧である。

Kirby Corporation  
Corporate Headquarters  
55 Waugh Drive, Suite 1000  
Houston, Texas 77007  
Tel: (713) 435-1000  
<http://kirbycorp.com/>

American Commercial Barge Line  
1701 E. Market St.  
Jeffersonville, IN 47130  
Tel: 800.457.637  
<http://www.bargeacbl.com/>

Tidewater  
6305 NW Old Lower River Rd  
Vancouver, WA 98660  
[info@tidewater.com](mailto:info@tidewater.com)  
<http://www.tidewater.com/>

American River Transportation Company (ARTCO)  
ADM Logistics  
4666 Faries Parkway  
Decatur, IL 62526  
Tel: 866-574-9690  
<http://www.adm.com>

Golding Barge Line  
101 Lee Street  
Vicksburg, MS 39180

---

<sup>57</sup> American Waterways Operators Annual Report 2015

Tel: 601-629-9800  
<http://www.goldingbarge.com/>

Ingram Marine Group  
4400 Harding Pike  
Nashville, TN 37205  
Tel: 615.298.8200  
<https://www.ingrambarge.com/home.php>

Turn Services  
3333 Chartres Street  
New Orleans, Louisiana 70117  
Tel: 504.949.1014  
<http://www.turnservices.com/>

Campbell Transportation Company, Inc.  
Foxpointe Centre, Building One  
201 S. Johnson Road, Suite 303  
Houston, PA 15342-1351  
Tel: (724) 746-9550  
<http://www.barges.us/>

Moran Towing Corporation  
50 Locust Avenue  
New Canaan, CT 06840  
Tel: 203.442.2800  
<http://www.morantug.com/site/#/home>

Le Beouf Brothers Towing Co  
124 Dry Dock Road  
Bourg, LA 70343  
Tel: (985) 594-6691  
<http://www.lebeouftowing.com/Default.asp>

Buffalo Marine Service  
P.O. Box 5006  
Houston, TX 77262-5006 24  
Tel: 713.923.5571  
<http://www.buffalomarine.com/>

Devall Towing and Boat Service, Inc  
2244 Swisco Road  
Sulphur, LA 70665  
Tel: 337-905-3500  
<http://www.devalltowing.com/>

Parker Towing Company, Inc.  
1001 3rd Street  
Northport, AL 35402  
Tel: (205) 349-1677  
[info@parkertowing.com](mailto:info@parkertowing.com)  
<http://parkertowing.com/>

ANDRIE INC.  
561 E. Western Avenue  
Muskegon, MI 49442  
Tel: 231.728.2226  
<http://www.andrietg.com/>

THE GREAT LAKES GROUP  
4500 Division Ave  
Cleveland, OH , 44102-2228  
Tel: 216-621-4854  
<http://thegreatlakesgroup.com/>

American Cruise Lines (河川クルーズ船社)  
741 Boston Post Rd, Suite 200  
Guilford, CT 06437  
Tel: 203-458-5700  
<http://www.americancruiselines.com/>

American Queen Steamboat Company (河川クルーズ船社)  
One Commerce Square  
40 South Main Street, 21st Floor  
Memphis, TN 38103  
Tel: (888) 749-5280  
<https://www.americanqueensteamboatcompany.com/>

#### 4. 米国造船業の概要

米国には、26州に117か所の新造船建造に携わる造船所がある。これに加えて、造船能力はあるが現在新造船建造を行っていない造船所と修繕所が200か所以上ある。

大部分の造船所は海洋沿岸州に位置しているが、五大湖、ミシシッピ川、オハイオ川などの主要内陸水路のある内陸州にも造船所が存在する。造船所の多い州は、バージニア州、ルイジアナ州、ミシシッピ州、コネチカット州、カリフォルニア州である。この5州で米国の造船・修繕所の民間雇用の62%を占めている。米国造船業の総雇用者数は約40万人である。

米国造船所・修繕所にとって最も重要な顧客は、米国海軍、陸軍、沿岸警備隊などの軍及び政府関係機関である。艦艇、巡視船、調査船等の新造船竣工数は少ないが（2011年：1,457隻中政府向けは15隻）、一隻当たりの船価の高い船舶が多く、米国造船業の売上の62.5%を占めている。

一方、隻数ベースでは、近年の新造船の80%以上は河川タンクバージ及びデッキバージである。米国造船所の年間新造船総竣工数は1,250隻以上（2013年）である。<sup>58</sup>

米国では、海事法（Merchant Marine Act of 1920）、通称「ジョーンズ・アクト」（Jones Act）により、米国内の港湾間を航行する商船は、米国内で建造、米国籍企業により所有、米国人クルーにより運航されなければならない。このため、米国の河川舟運に利用される船舶は、基本的に米国内で建造されることとなる。

---

<sup>58</sup> Export Finland、<http://www.slideshare.net/FinproRy/us-shipyards-presentation>

## 5. 米国の河川船造船所

以下は、米国内で海洋船の建造に加え、バージ、曳船・押船、客船などの河川用の船舶の建造を行っている造船所の例である。

Conrad Shipyard (ルイジアナ州)

1501 Front Street

Morgan City, LA 70381

sales@conradindustries.com

<http://www.conradindustries.com/>

JEFFBOAT LLC (インディアナ州)

1030 W. Market Street

Jeffersonville, IN 47130

Tel: 812.288.0515

<http://www.jeffboat.com/>

Bollinger Shipyards (ルイジアナ州)

Corporate Headquarters

8365 Hwy. 308 South

Lockport, LA 70374

Tel: 985-532-2554

<http://www.bollingershipyards.com/>

Chesapeake Shipbuilding, Corp., Shipbuilders & Naval Architects (メリーランド州)

710 Fitzwater Street, Salisbury, MD 21801

Tel: (800) 784-2979

<http://www.chesapeakeshipbuilding.com/>

Eastern Shipbuilding Group (フロリダ州)

Nelson Street Shipyard

2200 Nelson Street

Panama City, FL 32401

tel: 850-763-1900

info@easternshipbuilding.com

<http://www.easternshipbuilding.com/>

Gladding-Hearn Shipbuilding (マサチューセッツ州)

Duclos Corporation

168 Walker Street

Somerset, MA 02725  
Tel: 1-508-676-8596  
sales@gladding-hearn.com  
<http://gladding-hearn.com/>

Gulf Coast Shipyard Group Inc. (ミシシッピ州)  
13085 Seaway Rd.  
Gulfport, MS 39503-4607  
Tel.: (228) 276-1000  
nfo@gulfcoastshipyardgroup.com  
<http://www.gulfcoastshipyardgroup.com/>

Kvichak Marine Industries (Vigor) (ワシントン州)  
Main Office  
Ballard Facility  
Kvichak Marine  
469 NW Bowdoin Place  
Seattle, WA 98107  
Tel: 206-545-8485  
<http://www.kvichak.com/>

Trinity Marine Products, Inc. (テキサス州)  
2525 Stemmons Freeway  
Dallas, TX 75207  
Tel: (214) 589-8446  
trinity.marine@trin.net  
<http://www.trin.net/>

THE GREAT LAKES GROUP (オハイオ州)  
4500 Division Ave  
Cleveland, OH, 44102-2228  
Tel: 216-621-4854  
<http://thegreatlakesgroup.com/>



この報告書はボートレースの交付金による日本財団の助成金を受けて作成しました。

欧米の河川舟運産業の実態及び  
需要に関する調査

2017年（平成29年）3月発行

発行 一般社団法人 日本船用工業会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-13-3  
虎ノ門東洋共同ビル 5階  
TEL 03-3502-2041 FAX 03-3591-2206

一般財団法人 日本船舶技術研究協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-10-9 ラウンドクロス赤坂  
TEL 03-5575-6426 FAX 03-5114-8941

本書の無断転載、複写、複製を禁じます。

